拷問

佐溝 貴史

［登場人物］
拷問を受ける人
拷問をする人
アシスタント
※この台本は６つの場面で構成され、６人の役者が１回ずつ拷問を受ける人を演ずる。

衣装はベース。拷問する側はサングラスをかけている。
イスが二つ。

「消したい過去編」

中野
拷問者（佐溝）
アシスタント（松島）

明転

中野　　なぜ！なぜこんなことをする！
拷問者　　この拷問はな、意味はない
中野　　な！？
拷問者　　さあ吐け！
中野　　何をだよ！お前言ってることおかしいぞ！自分が矛盾してることわかって――
拷問者　　があ！（殴る）強情な奴め！だが、これでもそんな強気でいられるかな…？

拷問者、アシスタントに指示し不審な感じでいすを動かす。

中野　　何をする！おい！おい！
拷問者　　これから、おまえの高校時代書いた恥ずかしいポエムを
中野　　やめてくれ！
拷問者　　読んだ周囲の人の反応を流す――
中野　　！やめてくれ！
拷問者　　まず奥さんから

中野さんのポエムを読んでもらって、感想を言ってもらっている映像

その映像が流れるたびに中野「ぐわっ」とか言う。
嫁さん。一時停止。憔悴している中野

拷問者　　どうだ。吐く気になったか
中野　　頼む、もう勘弁してくれ…。それだけは…
拷問者　　まだ足りないようだな
中野　　グッ

再開。ほかの人にも読んでもらったりとかする。終了。同期、上司。子供。

拷問者　　死んだか…。

暗転
なんかつなぎの効果音ほしい

「子供溺愛編」

大島
拷問者（中野）
アシスタント（平川）

明転

大島　　なぜ！なぜこんなことをする！
拷問者　　意味はない
大島　　な！？
拷問者　　さあ吐け！
大島　　何をだよ！――
拷問者　　があ！（殴る）強情な奴め！だが、これでもそんな強気でいられるかな…？（アシスタントに準備を指示）お前、最近子供ができたそうだな・・・？
大島　　子供になにをする？！やめろ！

子供の写真がいくつもスライドで表示される。かわいすぎてもだえ死ぬ
大島、死んでいる

拷問者　　死んだか…
　　・・・確かにかわいい。

大島　　うん

暗転
なんかつなぎの音楽

「萌死に編」

平川
拷問者（中野）
アシスタント（松島）

明転

平川　　なぜ！なぜこんなことをするの！
拷問者　　意味はない！さあ吐け！
平川　　何を！あなた言ってることおかしいわよ！自分が矛盾してることわかって――
拷問者　　があ！（ぬるっと触る）強情な奴め！だが、これでもそんな強気でいられるかな…？
平川　　何？なに？

アシスタントが蛇を後ろから。
拷問者が、平川の嫌いな食べ物を食わせる
そのうち拷問者が耐えられなくなり、アシスタントに替わらせる。

平川　　（可愛くリアクション）
平川　　おいしい、でしゅ・・・
拷問者　　かわいい…(死ぬ)
平川　　死んだか…

暗転
つなぎの曲

「萌死なない編」

松島
拷問者（中野）
アシスタント（平川）

明転

松島　　この拷問に、意味はない！

拷問者　　お前が言うな！（ぬるっと触る）強情な奴め！だが、これでもそんな強気でいられるかな…？

平川編と同じことをする。かわいくない。

松島　　げろげろげろ、おいしいでしゅー！！！
松島　　死んだか…？
拷問者　　死ぬか

暗転
つなぎの音楽

「ガチに拷問編」

大河内
拷問者（大島）
アシスタント（平川）

明転

アシスタントが変な恰好をしている。

拷問者　　この拷問に――（アシスタントに）その恰好変だぞ。
アシ　　があ！(大河内を殴る)
大河内　　な！？
アシ　　さあ吐け！
拷問者　　ゲロゲロゲロ
大河内　　何なんだよ！流れがむちゃくちゃだぞ――
拷問者　　があ！（殴る）強情な奴め！だが、これでもそんな――
大河内　　ふっふっふ、俺にはそんな弱みなどない
拷問者　　があっ！(殴る)

拷問者、ひたすら殴り続ける

大河内　　なんで俺だけ…

溶暗

「どこが面白いの？編」
どこが面白いか、言わせて解説している映像を同時に流す

佐溝（作者・被拷問者）
拷問者（大河内）
アシスタント（他全員）

明転

イスに縛られた作者。その脇のイスに座る拷問者

作者　　なぜ！なぜこんなこと———多くない？！
拷問者　　があ！（殴る）うるさい！これでもそんな強気でいられるかな…？

今回やる台本の稽古風景がプロジェクターに流れる。作者が演出をつけている。
どこが面白いんだか、一行ずつ役者に言わせている。
そうだ、そこだよ！とか映像の中で言うたびに、「ぐわあ」とか「あ！」とか言って作者があたかも電気ショック等の拷問を受けているかのように苦しむ

作者、死んでる

拷問者　　死んだか…。これは敢えて不謹慎な終わり方をすることで、また映像を見ただけで死ぬわけがないのに死んだ、というところ、さらにはこんなに変な顔をして死んでいるところが面白い。
作者　　やめてくれ

暗転。